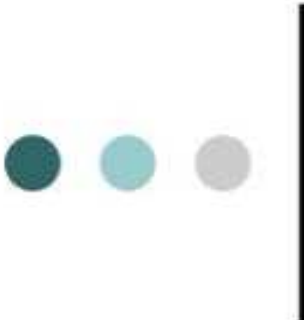




幸いな国⑥ 「心の清い人」

シリーズ～築く～

2010/6/6



心の貧しい人々は、幸いである、

天の国はその人たちのものである。

悲しむ人々は、幸いである、

その人たちは慰められる。

柔和な人々は、幸いである、

その人たちは地を受け継ぐ。

義に飢え渴く人々は、幸いである、

その人たちは満たされる。

憐れみ深い人々は幸いである、

その人たちは憐れみを受ける。

心の清い人々は幸いである、

その人たちは神をみる

● ● ● 私たちの内面が幸せを決める

- “私たちは病気によってのみ苦しんでい
るのではない。私たちの基本的な問題は
人種問題ではない。貧困の問題でもない。
戦争の問題でさえない。私たちの基本的
な問題は心の問題である。”

<ビリー・グラハム>

- 「人は目に映ることを見るが、主は心によ
って見る。」(サムエル上16:7)



「心の清い人」とは

- 3節の「心」は原語では「霊」であったが、ここでは原語でも「心」である
- 「清い」とは；
 - 「清潔、汚れていない」 Clean
 - ・ 洗うことで得られる清さ
 - 「純粹、二面性がない」 Pure
 - ・ 不純物を取り除くことで得られる清さ
 - ・ 金属の場合、精錬(せいれん)する

心のよごれ

- 「律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたたち偽善者は不幸だ。白く塗った墓に似ているからだ。外側は美しく見えるが、内側は死者の骨やあらゆる汚れで満ちている。このようにあなたたちも、外側は人に正しいように見えながら、内側は偽善と不法で満ちている。」

<マタイ23:27-28>

- 「あらゆる不義、悪、むさぼり、悪意に満ち、ねたみ、殺意、不和、欺き、邪念にあふれ、陰口を言い、人をそしり、神を憎み、人を侮り、高慢であり、大言を吐き、悪事をたくらみ、親に逆らい、無知、不誠実、無情、無慈悲です。」

<ローマ1:29-31>



心の二面性

- 「だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」
＜マタイ6:24＞
- 「ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。…そういうのは、二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です。」
＜ヤコブ1:6-8＞

心を清くしていただくには

- もう手遅れか？
 - すっかり汚れきっていくつも顔がある
- イエス様の第一声は？
 - 「悔い改めて福音を信じなさい」
 - 心の方向を変えること
- 聖霊によって清めていただく
 - 「救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗いを通して実現したのです。」 <テトス3:5>

● ● ● 聖霊と教会の助けにより

○ 良い教えを心に満たす

- 「すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。」
〈フィリピ^o4:8〉

○ 正しい見本を見習う

- 「神にかたどって造られた新しい人を身に着け、真理に基づいた正しく清い生活を送るようにしなければなりません。」 〈エフェソ4:24〉
- 「御子にこの望みをかけている人は皆、御子が清いように、自分を清めます。」 〈Iヨハネ 3:3〉

●●● | 心の清い人は神を見る

- 子どものような純粋さで神に近づく
 - 「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」<ルカ18:16>
- 「神を見る」とは
 - やがて神にお会いする
 - 神の栄光に照らされる